

漁況情報 No.17

平成 19 年 10 月 23 日発行

岩手県水産技術センター 漁業資源部

Tel : 0193-26-7915、Fax : 0193-26-7920、E-mail : CE0012@pref.iwate.jp

*本報は <http://www.pref.iwate.jp/hp5507/> に掲載しております。

<< トピックス >>

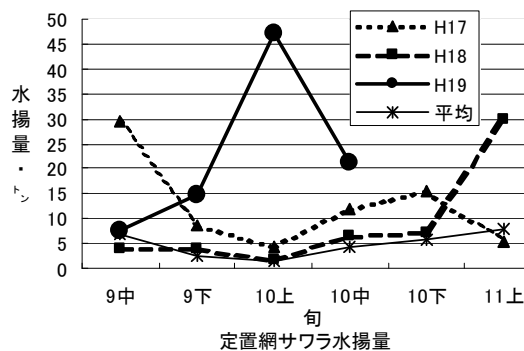
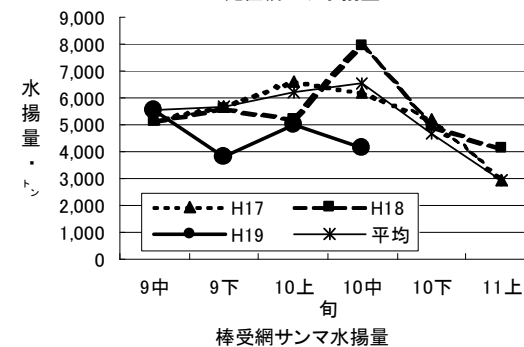
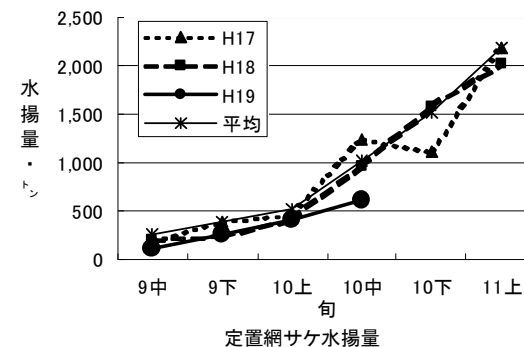
サケ(定置網)、サンマ(棒受網)の水揚げは前年を下回りました。
サワラ(定置網)、スルメイカ(イカ釣り)の水揚げは好調です。

1. 水揚げ状況

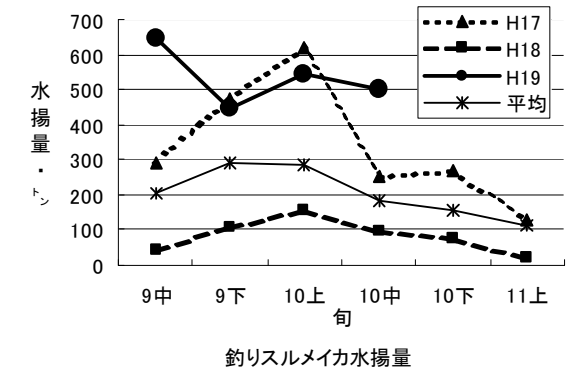
(1) サケ(定置網)は久慈、宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は619トン(前年同期の65%)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は1,022トンで、旬水揚げはその61%でした。年累計は1,482トン(前年同期の79%)です。

(2) サンマ(棒受網)は宮古、大船渡を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は4,119トン(前年同期の52%)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は6,507トンで、旬水揚げはその63%でした。年累計は24,001トン(前年同期の79%)です。

(3) サワラ(定置網)は宮古を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は21トン(前年同期の3.3倍)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は4.2トンで、旬水揚げはその5.1倍でした。年累計は412トン(前年同期の4.5倍)です。



(4) スルメイカ(いか釣り)は久慈を中心に水揚げがあり、10月中旬の水揚げ量は502トン(前年同期の5.2倍)でした。また、10月中旬の過去5年間の平均水揚げ量は182トンで、旬水揚げはその2.8倍でした。年累計は6,102トン(前年同期の6.4倍)です。



*水揚げ状況は主要6港(久慈、宮古、山田、大槌、釜石、大船渡)の集計による。

2. 調査結果、その他の情報

◎サバ類精密測定結果

10月中旬に水揚げされたサバ類(釜石魚市場、定置網)の精密測定を行いました。

体長は31cmが主体であり、9月上旬に比べ、大型魚の割合が高くなっていました(図1)。本県で水揚げされるサバ類には、マサバとゴマサバがあります。両種は体長と背びれの長さの比で判別できます(判別指数:12以上がマサバ、12未満がゴマサバ、判別方法は漁況情報 No.9参照)。今回測定したサバはほとんどがゴマサバであり、マサバはわずか2%でした。6月下旬から10月中旬にかけてマサバの割合が低下する傾向がみられました(図2)。

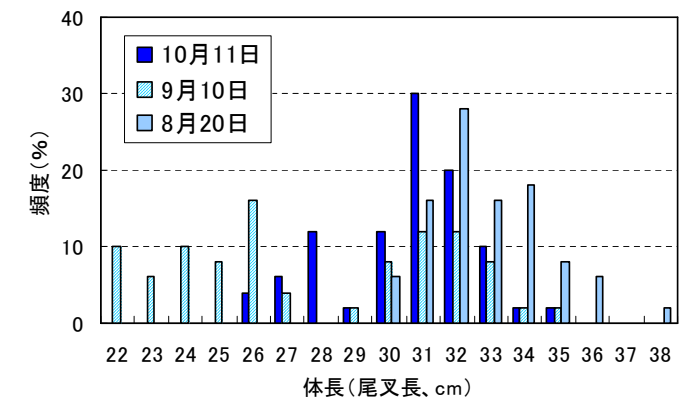


図1 サバ類体長組成

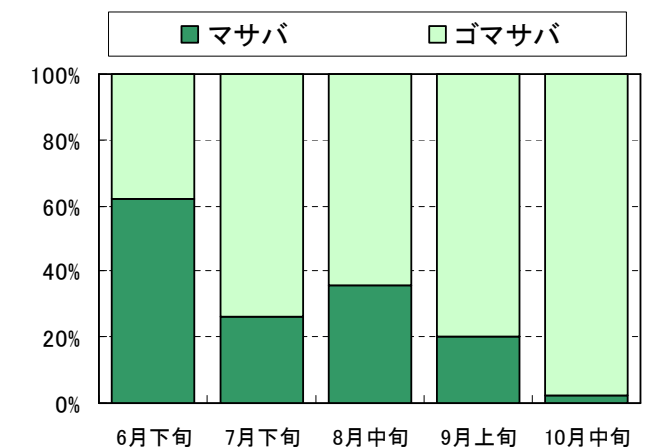


図2 マサバ・ゴマサバ組成比の推移

「フィッシャリィ・ネットいわて」(<http://www2.suigi.pref.iwate.jp/>)で、日別・市場別・魚種別の水揚げ状況、定地水温などを検索できますので、こちらもご活用下さい。